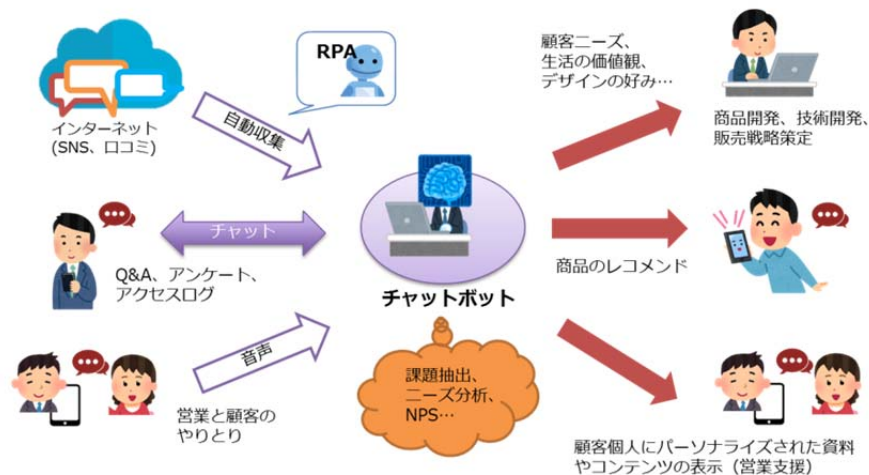


2018年6月15日
株式会社豆蔵

豆蔵、マツダ株式会社・一橋大学とチャットボットを活用した デジタルマーケティングをテーマに産学連携で共同研究を開始

株式会社豆蔵（代表取締役社長：中原 徹也、本社：東京都新宿区、以下豆蔵）は、豆蔵が開発したチャットボット（対話型AIエンジン『MZbot』）とAIに関する教育コンテンツを活用して、マツダ株式会社様の事業フィールドをモデルケースに、一橋大学神岡研究室と共同研究を行います。2018年6月から12月にかけて、お客様とのコミュニケーション手段として注目されているチャットボットを活用したデジタルマーケティングの可能性を探ります。

チャットボットがデジタルマーケティング（お客様、従業員の声の収集・分析など）に効果的に利用できる可能性を分析して、ビジネスシーンでの活用方法を共同研究



デジタルマーケティングにおける MZbot（チャットボット）の活用イメージ

チャットボットを活用することで、お客様は気軽に質問することができ検索で疲れることがなくなり、企業は顧客とのコミュニケーションの接点が増え、高付加価値なご案内につなげることが可能になっています。しかし、従来のチャットボットの準備にはシナリオ作成が必要で、大変手間のかかるものでした。『MZbot』は、既存の FAQ データ(よくある質問)を取り込むだけで利用可能な次世代型の AI エンジンを搭載しており、短期間かつ少ない手間でチャットボットの運用を開始できるようになりました。

豆蔵では、産学連携の活動を継続し、先端的な IT とデジタル技術を活用できる人材育成プログラムを提供して、企業のデジタルマーケティングをご支援してまいります。

■ MZbot とは

『MZbot』はチャット画面を使った問い合わせ(Q&A)機能だけではなく、RPA ロボット、サービスロボット、クラウド API、IoT センサ等と連携し、社員一人ひとりのデジタル秘書(パーソナルアシスタント)として企業活動における多くの業務を代行します。

「簡単に短時間で導入ができること」「各種の業務への展開や運用が簡単にできること」「導入・運用、ともに低価格であること」を実現した対話型 AI エンジンです。

『MZbot』を使った新サービスやナレッジが必要な分野への適用をご検討されている企業様に向けて、導入支援サービスを 2018 年 2 月より提供しております。

<https://www.mamezou.com/services/strategic/chatbot>

■ 本件に関するお問合せ

<https://www.mamezou.com/contact>

※記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本ドキュメントの掲載内容は発表時の内容です。